

放課後等デイサービス自己評価表 <事業所全体>

2022.3.11

ひと・まちすりーえす

領域	番号	チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	わからない	○工夫している点 ●課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用者の活動等のスペースが十分に確保されているか。	10	1			○法律に定められた設置基準を上回るスペースを確保している。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか。	9	2			○法律に定められた配置基準以上の配置をしている。 (基準:利用者10人まで2人以上) ○特別支援教育免許所持者が3人おり、専門性の担保につなげている。
	3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる空間になっているか。	10	1			○毎週金曜日に職員による清掃と利用者による清掃をそれぞれに行っている。 ○コロナウィルス感染症対策として、毎朝の除菌、常時換気を行っている。
	4	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか。	8	3			○玄関のスロープ、多目的トイレの設置 吊り戸による床のフラット化をしている。 ※2階への階段については、構造上難しい。安全に最大限配慮する。
業務改善	5	業務改善を進めるためにPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、職員が参画しているか。	9	2			○常勤スタッフで実施している。 ●非常勤スタッフの共通理解の場を設ける。
	6	アンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	9			2	○毎日の活動日誌で保護者からの意見等を把握し、業務改善につなげている
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	1	6	●今後、他事業所や行政などから情報収集をし、実施に向けて検討を進める。
	8	職員の資質向上を図るために研修の機会を確保しているか。	10			1	○スタッフ会議(週1回)に位置付けるとともに、所内研修(年2回)と所外研修(年2回、他事業所や関連施設の見学)を行っている。
	9	自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	9			2	
適切な支援の提供	10	利用者と保護者のニーズや課題を客観的に分析して個別支援計画を作成しているか。	11				○日々の活動内容ごとの評価を月単位で一覧表に整理し、反映させている。
	11	利用者の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	9			2	○S-M社会生活能力検査を活用している ●その他の検査も検討する。
	12	個別支援計画に沿った支援が行われているか。	11				○今週のプログラムとの連動を図り、支援に努めている。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10			1	○原案作成は担当が行い、スタッフ会議で検討し共通理解を図っている。
	14	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	10	1			○多様な活動を取り入れている。 ○各活動プログラムの検定試験を行い、活動内容の見直しや利用者の活動意欲の向上に努めている。
	15	利用者の状況に合わせ個別活動と集団活動を適宜組み合わせて計画を作成しているか。	10				○月間プログラム作成時に、配慮して作成し、内容に応じて組み合わせている。
	16	学校の授業日、休業日に応じて課題をきめ細かく設定し、支援しているか。	10			1	○休業日は学校の授業日とは別個の特別なプログラムを策定し実施している。
	17	支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日の支援内容や役割分担について確認しているか。	11				○活動前に活動内容の流れや配慮事項グループ編制、スタッフの役割分担などの確認し共通理解を図っている。 ○共有サーバーに「活動BOX」を設け、常時確認し、支援を行っている。
	18	支援終了後に、その日の支援について振り返りを行い、問題点や課題を共有しているか。	6	4		1	○スタッフ間で活動日誌の回覧をしたり、スタッフ会議や日々の活動前に情報交換を行っている。

適切な支援の提供	19	日々の支援に対して、的確に記録をし、支援の検証、改善につなげているか。	11				○活動日誌の中に評価欄を設けて累積し、ケース会議やモニタリングで活用し、支援の改善を行っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	11				○利用開始後1~2か月後の面談及び1月~2月にモニタリングを実施している。
	21	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか。 (自立支援・日常生活充実のための活動、創作活動、地域交流の機会、余暇の提供)	9	2			○基本活動を組み合わせたプログラムを作成し、実施している。 ●地域交流は今後進めたい。
関係機関や保護者との連携	22	学校との情報共有(行事予定、下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	11				○学校との情報共有は基本的に保護者からのグループラインで行い、必要に応じて学校に連絡をして行っている。
	23	地域自立支援協議会等へ参加しているか。		1	2	8	
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3	2		6	・現時点では必要性がなく受けていないが、今後必要に応じて検討する。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	2	1	5	3	●学校授業日での交流は、物理的・時間的に難しい。また、コロナ禍で難しいが、今後検討したい。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11				○活動日誌や送迎時の情報交換を行い、共通理解を図っている。
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対して子育てに関する支援等を行っているか。	10			1	○随時面談を実施し、必要に応じて助言・支援を行っている。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11				○見学・体験時に運営理念や運営規程、支援内容について、リーフレット・パワーポイント等で説明を行っている。 ○利用者負担等については利用契約時に文書を配付し説明を行っている。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	10			1	○随時必要に応じて面談を実施し、助言・支援を行っている。
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	11				○月1回程度土曜サロンを開催し、保護者同士の連携を支援している。
	31	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			1	○これまでに緊急に対応を検討するような苦情等は受けていないが、保護者からの日々の意見・要望等には迅速に対応してきている。
	32	活動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11				○月間予定表、今週のプログラム、事業所からのお知らせ等で発信している。
	33	個人情報に十分注意しているか。	10	1			○個人情報を含むUSB及び紙媒体は持ち出し禁止とし、採用契約時に確認をしている。
	34	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11				○LINEや活動日誌、活動ファイルを通して行っている。
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか。	2	2	3	4	※コロナ禍により実施が難しい。

非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	9			2	○マニュアルを作成し、スタッフの共通理解を図った。 ●保護者への周知は今後実施する。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか。	5	3		3	○避難訓練(地震)を実施(1月) ○食料・飲料水の備蓄をしている。(利用者・職員用)
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	2		5	○職員研修の中で、実施している。
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	7	1		3	※身体拘束を行う必要のある利用者はいないため、記載していない。
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		4	○契約時に確認し、アセスメント表に明記し、共通理解を図っている。
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	5	2		4	○スタッフ会議で情報共有をしている。 ○内容により事故報告書で共有している。 ●事例集の作成について検討する。